



# りそな Today

第23期 りそなグループ 報告書  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

## INDEX

Top Message.....	01	りそなグループの業績 .....	11
りそなの1年 .....	03	グループ銀行の概況／株主メモ .....	14
「リテールNo.1」実現への加速 .....	05	株主さまアンケート実施のご案内／	
持続可能な社会の実現に向けて .....	09	株主さまの個人情報のお取扱いについて .....	裏表紙



## 「リテール No.1」の 実現に向けて

株式会社りそなホールディングス  
取締役兼代表執行役社長  
兼グループCEO

南 昌宏



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年3月期の日本経済は、コロナ禍を乗り越え、課題を抱えながらも緩やかな回復基調を取り戻しました。また、国内の金融政策も、マイナス金利が解除され、正常化に向けて新たな局面を迎えております。

こうしたなか、2024年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、1,589億円となりました。前期比14億円の減益ですが、通期目標に対しては105.9%の達成率となっております。コア収益(国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費)<sup>\*1</sup>は下期から増勢基調に転じ、通期目標対比105.8%の1,587億円となりました。

不良債権比率は1.34%、自己資本比率は12.85%と、引き続き、健全な水準を維持しております。2025年3月期における普通株式1株当たりの年間配当金

予想は、1円増配の23円とさせていただくとともに、2024年5月14日に同年6月21日までを取得期間とする200億円(上限)の自己株式取得枠も設定いたしました。今後も、健全性、収益性とのバランスや成長投資の機会を考慮しつつ、株主還元の拡大に努めてまいります。

中期経営計画の初年度である2024年3月期は、「リテールNo.1」の実現を加速させるために、新たな挑戦に踏み出した「ギアチェンジの年」となりました。成長投資の拡大を通じて、中期経営計画に掲げる戦略の着実な進捗が図れたものと考えております。

具体的には、事業環境変化が加速するなか、フィービジネスの拡充に加えて、りそなグループの強みであるお客さま基盤を活かした預貸金ビジネスの再興が進んでおります。お客さまのこまりごとを起点に、顕在化するさまざまな資金需要へ積極的に対応することで、貸出金

も想定以上に伸ばしております。また、リース会社2社の完全子会社化、デジタルガレージ社との戦略的資本業務提携の強化など、インオーガニック投資<sup>\*2</sup>にも踏み出しております。今後も、外部との共創などを通じて、「お客さま基盤」「機能」「経営資源」を拡充することで、お客さまへの新たな価値の提供と成長機会の獲得に取り組んでまいります。

また、2024年4月には、りそなホールディングスと関西みらいフィナンシャルグループの統合を完了いたしました。りそなホールディングスのもと、4つの銀行がそれぞれの地域特性に応じた最適なソリューションを提供する「ワンプラットフォーム・マルチリージョナル戦

略」を支える体制整備も進展しております。2025年には、みなと銀行の事務システム統合も予定しており、今後もグループ連結運営のさらなる強化を進めてまいります。

これからも、「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスのもと、これまでの金融サービスの枠にとどまらない新たな発想で、お客さまのこまりごと、社会課題の解決に努めるとともに、「リテールNo.1」の実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

### りそなグループパーパス

多様化・高度化するお客さまや社会のニーズに寄り添い、金融の枠にとどまらない発想で未来をプラスに変えていきたいという強い思いが込められています。

社会がどのように変わっても、安心して前を向けること。希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは一つひとつの地域に寄り添い、金融の枠にとどまらない発想で小さなことでも、大きなことでも、未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望、そしてワクワクする未来のために、私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

## 金融+で、 未来をプラスに。

<sup>\*1</sup> 特殊要因(合同金信影響+24億円、リース2社完全子会社化要因△11億円)を除く実質ベース、「経費」は利益をマイナスする項目

<sup>\*2</sup> 他社との提携や他社の買収などを通じた成長を目的とした投資

# りそなの1年

2023年

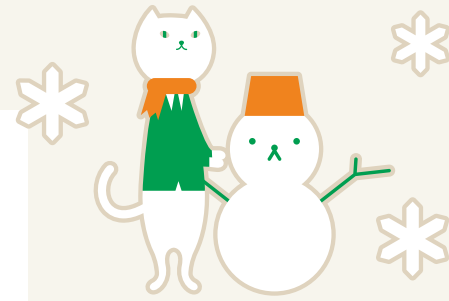
5月

## りそなグループパーパス、長期ビジョン制定

詳細はホームページをご覧ください。▶



**パーパス**  
金融+で、  
未来をプラスに。  
**長期ビジョン**  
リテールNo.1

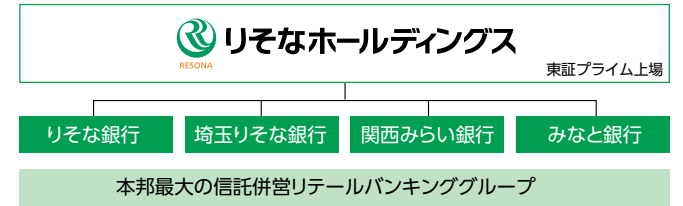


12月 中間配当実施  
自己株式150億円取得

4月

## 関西みらいフィナンシャルグループの合併による新たな組織体制

2024年4月1日現在



**りそなリース 誕生** ▶詳しくはP6をご覧ください。

**りそな不動産投資顧問 設立**  
詳細はホームページをご覧ください。▶

## みなと銀行25周年

みなと銀行は、地域のみなさまのご支援のおかげで2024年4月1日に発足25周年を迎えました。



2024年

2月

## りそなイノベーションパートナーズ 設立

デジタルガレージグループと共同で設立したCVC\*ファンドを通じて、デジタル・データ・テクノロジーを活用した先進的なビジネスモデルを有するスタートアップ企業への投資を行います。  
\*コーポレートベンチャーキャピタル

## 株式会社十六フィナンシャルグループとのリテール分野における戦略的業務提携

▶詳しくはP6をご覧ください。



6月 第22期定時株主総会開催  
前期末配当実施  
自己株式100億円取得

9月

## 社史『りそなグループ20年のあゆみ—変革への挑戦—』発刊



過去の学びや教訓をりそなグループのDNAとして次世代に正しくつないでいくことを目的に発刊しました。

デジタル版社史はこちらをご覧ください。▶



## 外部評価

## 「リテールNo.1」を目指すりそなの取り組みは、外部からも評価をいただいています。

※2024年4月末現在



マーサーMPA(JAPAN)アワード2023  
https://www.mercer.co.jp/



R&Iファンド大賞2023  
https://www.r-i.co.jp/investment/fund\_award/index.html



LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024  
https://lipperfundawards.com



健康経営優良法人2024



責任投資原則(PRI)年次評価(2023年) ~7項目中5項目で最高評価「5つ星」を獲得~



環境省「エコ・ファースト企業」への認定



PRIDE指標2023 最高評価の「ゴールド」7年連続



2024 J-Win ダイバーシティ・アワードにおける「経営者アワード」

\*1 りそなアセットマネジメント \*2 小型株(集中投資)/株式ロZ \*3 りそな銀行 \*4 確定給付年金 外国株式(含む日本) グロース/ファンド大賞/総合口〇 りそなグローバル株式 \*5 投資信託株式部門/最優秀会社賞 \*6 りそなホールディングス・関西みらいフィナンシャルグループ(大規模法人部門)、りそな保証(中小規模法人部門) \*7 りそなホールディングス

## ESG指数

### GPIFが選定したESG6指数(国内株)すべてに採用



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数



S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数(WIN)

Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数



SOMPO サステナビリティ・インデックス

\*a りそなホールディングス \*b 詳細は当社ホームページをご覧ください https://www.resona-gr.co.jp/holdings/sustainability/award/

当社のホームページは外部から評価をいただいています。



[Gomez ESGサイトランキング2023] 優秀企業



[Gomez IRサイトランキング2023] 金賞(6年連続)



「日興アイ・アール」2023年度全上場企業ホームページ充実度ランキング] 最優秀サイト(7年連続)



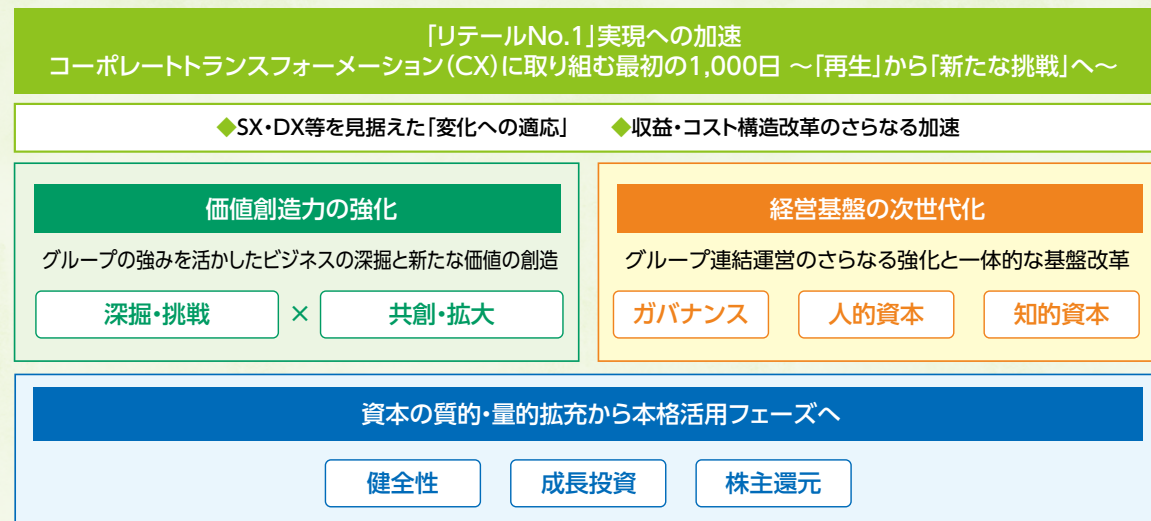
「大和インベスター・リレーションズ」2023年インターネットIR表彰]優良賞(4年連続)



# 「リテールNo.1」実現への加速

リテール特化の強みを活かしたビジネスの深掘、新たな価値の創造への挑戦を通じた「価値創造力の強化」、グループ連結運営のさらなる強化と、一体的な基盤改革を通じた「経営基盤の次世代化」に取り組みます。

## 中期経営計画の全体像



## 中期経営計画の主要経営指標

	2023年度(実績)	2025年度	
<b>収益・コスト構造改革の実現</b>  <b>健全性、成長投資と株主還元の最適化</b>	親会社株主に帰属する当期純利益	1,589億円	1,700億円
	連結コア収益 <sup>*1</sup>	1,587億円	1,800億円
	連結経費率	66.3%	60%台前半
	株主資本ROE <sup>*2</sup>	7.2%	8%
	普通株式等Tier1比率 <sup>*3</sup>	9.90%	10%台
	総還元性向	48.2%	50%程度
<b>持続可能な社会の実現</b>	GPIF選定ESG指数(国内株) <sup>*4</sup>	すべてに採用	すべてに採用

【2025年度前提条件:無担保コールO/N △0.05%、10年国債0.40%、日経平均株価28,000円】

\*1 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、2023年度は特殊要因(合同金債影響+24億円、リース2社完全子会社化要因△11億円)除く実質ベース、「経費」は利益をマイナスする項目  
\*2 親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本(期首・期末平均) \*3 国際統一基準、バーゼル3最終化・完全実施、その他有価証券評価差額金除き \*4 FTSE Blossom Japan Index、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index、MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(2022年度まで)、MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数(2023年度以降)、S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数、MSCI日本株女性活躍指数、Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

## 💡 価値創造力の強化

## 👥 経営基盤の次世代化

### リそなリース誕生

リそなホールディングスは、「首都圏リース株式会社」と「ディー・エフ・エル・リース株式会社」を連結子会社化しました。両社は2024年4月に合併し、「リそなリース株式会社」に商号変更しました。グループ各社との連携をさらに強化するとともに、両社がこれまで築き上げてきたお客さま基盤や、リースビジネスにおける各種ソリューション機能の融合・拡充を通じて、お客さまの経営課題の解決により一層取り組んでいきます。



### 株式会社十六フィナンシャルグループとの リテール分野における戦略的業務提携



リそなホールディングスは、中京圏に基盤を持つ十六フィナンシャルグループと、業務提携に関する協定書を締結しました。ファンドラップやアプリ基盤の提供をはじめ、事業承継、協調融資の組成などで連携し、中京圏での「お客さま基盤」「経営資源」「機能」の拡充を目指します。高度化・多様化するお客さまのニーズや、金融市場の環境変化などを踏まえ、リアル・デジタルの両面から、情報・ノウハウを相互に活用することで、さらなる地域経済への貢献ならびに持続的な成長につなげます。また、グループのサービス向上および事業競争力を強化するなかで、リテールNo.1の実現を目指します。

リそなグループアプリは、バンキングアプリとして大手行で初めて地方税統一QRコードに対応しました。このQRコードをスキャンして納付番号などを入力することなく簡単に地方税を納付できる機能により、キャッシュレス納付を推進します。さらに、ご利用明細をアプリから手軽にダウンロードできる機能の搭載など、「銀行を持ち歩く」をコンセプトとして、お客さまの利便性の向上に取り組んでいきます。

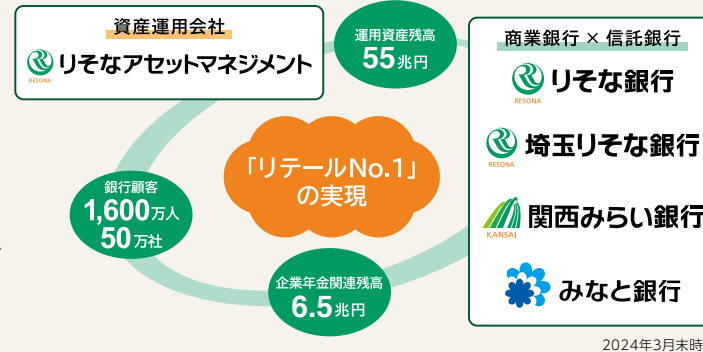
### リそなグループアプリの機能拡充

リそなグループアプリは、バンキングアプリとして大手行で初めて地方税統一QRコードに対応しました。このQRコードをスキャンして納付番号などを入力することなく簡単に地方税を納付できる機能により、キャッシュレス納付を推進します。さらに、ご利用明細をアプリから手軽にダウンロードできる機能の搭載など、「銀行を持ち歩く」をコンセプトとして、お客さまの利便性の向上に取り組んでいきます。



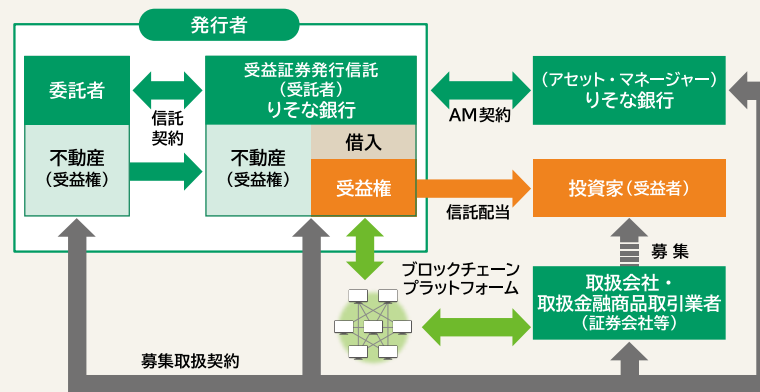
## お客様の資産形成サポート機能強化

2024年1月に公表した「資産形成サポート機能強化に向けた取り組み」に沿って、りそなアセットマネジメントとグループ銀行4社が一丸となり、お客さまや地域社会が直面する課題に向き合っていきます。りそなグループが60年以上培ってきた長期・安定的な資産形成の運用力をさらに高めていくとともに、「つみたてボックス」など、デジタルでの伴走も組み合わせながら、良質なソリューションをお客さまに広く提供します。また、NISA・iDeCoをはじめとした資産形成や、次世代への承継相談、企業年金の実施事業主のお客さまへのサポート強化などを通じて、グループの総力を挙げて安定的な資産形成に貢献します。



## 不動産セキュリティ・トークン・オフリング事業の開始

りそな銀行は、「不動産セキュリティ・トークン・オフリング」により、不動産信託を活用した資金調達方法をお客さまに提供するとともに、小口で不動産に投資できるデジタル証券(セキュリティ・トークン)の発行による個人の資産形成をサポートします。「信託機能」と「不動産機能」を活用し、信託受託者としてセキュリティ・トークンの発行・管理などにかかるサービスを提供するとともに、アセット・マネージャーとして運用指図を行い、資産形成を通じた持続可能な社会の実現をサポートします。



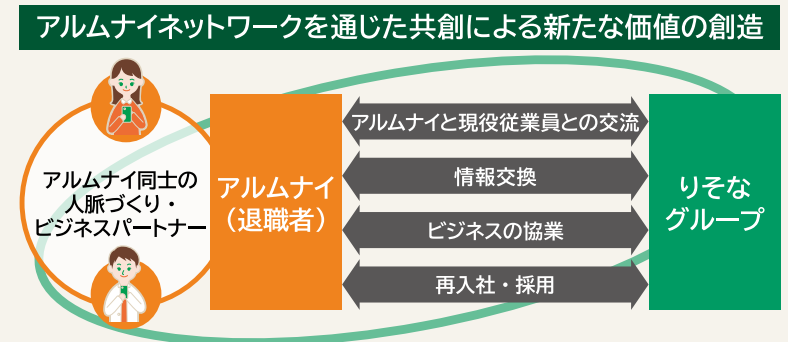
## 「おやとこ安心サービス」取扱開始

関西みらい銀行は、社会的に深刻な問題となっている還付金詐欺などの特殊詐欺被害を防止するため、ATMの引き出し限度額を制限し、限度額の引き上げ・解約をする際には家族の承認を求める「ありそうでなかった」新サービスを開始しました。詐欺の未然防止にお役立ちすることで、お客さまに安心してお取引いただける金融サービスを展開します。



## アルムナイネットワークの構築

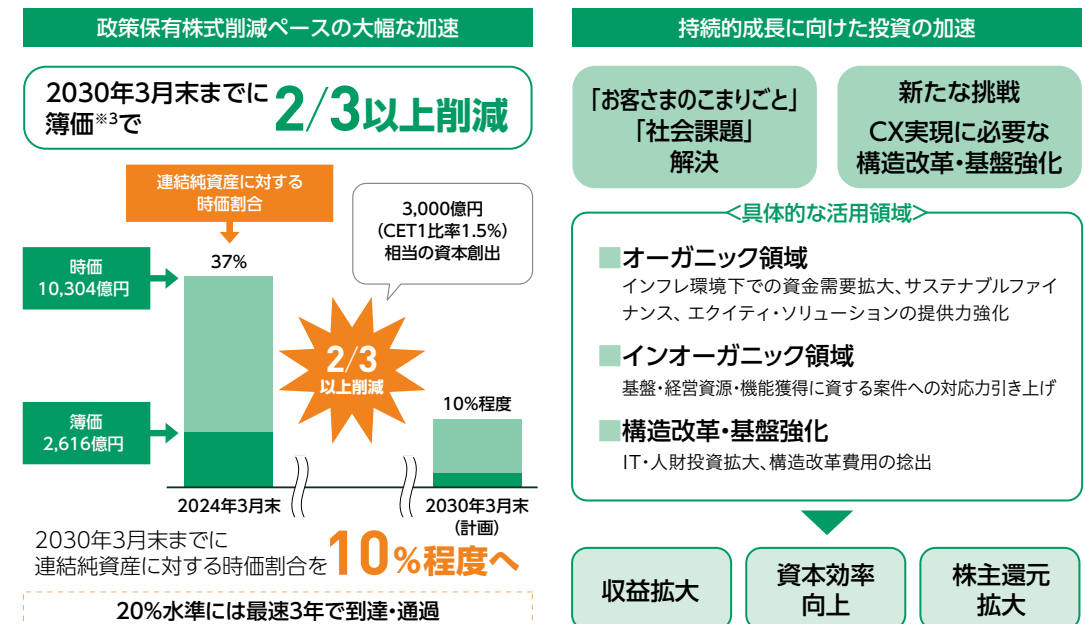
りそなグループ銀行4社は、アルムナイ(退職者)との関係性をこれまで以上に強化するために、2024年3月にアルムナイネットワークを構築しました。SNSを通じた情報発信やアルムナイとりそなグループ現役従業員との交流イベントにより、双方向のコミュニケーションを図ります。さらに、協業を通じてビジネスパートナーとしてのつながりを深めるなど、再入社にとどまらない共創による新たな価値の創造で、人的資本を拡大し、互いに知見を広げ、イノベーションを促進します。



## 新たな政策保有株式の削減計画

りそなグループは、お客さまへ新たな価値を創造するとともに、私たちが持続的な成長を遂げていくために必要となる経営資源を確保していくことを目的に、2024年5月、新たな政策保有株式の削減計画を公表しました。創出される資本を活用し、オーガニック<sup>\*1</sup>・インオーガニック<sup>\*2</sup>の両方の領域で成長投資を加速します。そして、資本の好循環による収益のアップサイドを源泉に、株主還元についても持続的に拡大できるよう取り組んでいきます。新計画では2030年3月までに簿価残高で2/3以上の削減を目指しています。

### お客さまに対する新たな価値の創造 成長投資・構造改革に充当可能な経営資源を創出



\*1 企業がその内部資源によって成長すること \*2 他社との提携や他社の買収などを通じた成長を目的とした投資 \*3 銀行合算ベース、取得原価、時価のある有価証券





詳細はホームページをご覧ください。▶

## 大阪・関西万博に向けての活動

りそなグループは大阪・関西万博 運営参加 ゴールドパートナーです

2023年度は万博会場の準備状況や前売り販売チケットなどの最新情報を提供する開催500日前セミナーや、全国の学生が万博のテーマに沿ったビジネスアイデアを考える「2023りそな×EXPO2025 SDGsアイデアコンテスト」を開催しました。りそなグループはメインバンクとしての運営支援や「ミャクポ！」の提供、セミナー開催などの機運醸成活動に取り組んでいます。引き続き、万博の成功と地域の発展に貢献していきます。



▶ EXPO2025まで500日セミナー「行ってみて！参加してみよう！万博最新情報」の様子



©Expo 2025

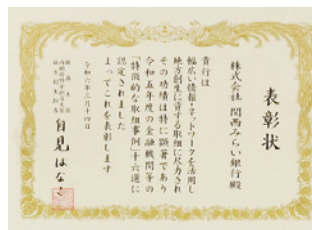
## 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」の受賞

関西みらい銀行とりそな銀行は、ヨシ\*素材の販路拡大支援をはじめとする取り組みが評価され、「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」で地方創生担当大臣表彰を受賞しました。ヨシを利用した服の生地を製造する企業とユニフォームを製造する企業を引き合わせ、ヨシ素材生地を用いた新商品を開発し、ヨシ素材のユニフォームを2025年大阪・関西万博スタッフ2,700名に提供予定です。2023年12月、使用するヨシの刈取が行われ、Re:Heart倶楽部ボランティアが参加しました。これにより、琵琶湖の水質保全や、CO<sub>2</sub>削減などの環境問題にも貢献しました。

※イネ科ヨシ属の多年草



▲ヨシを刈取する様子(琵琶湖周辺)



▲表彰状

## Re:Heart倶楽部による地域活性化の取り組み

りそなグループの従業員ボランティア団体「Re:Heart倶楽部」は2012年の発足以来、お祭り・スポーツイベントのサポートや環境保全、被災地支援など、地域を元気にするさまざまな活動に取り組んでおり、これまでに延べ6万人を超える役員・従業員が参加しています。2023年9月には、世界190か国で実施された「WORLD CLEANUP DAY 2023」に参加、りそなグループ大阪本社や関西みらい銀行支店周辺の美化活動を実施し、主催団体から表彰を受けました。



▲「WORLD CLEANUP DAY 2023」  
関西みらい銀行 千里丘駅前支店の活動

## 金融リテラシー向上に向けた取り組み

将来のお金への不安や金融犯罪の被害増加により、改めて金融リテラシーを高めていくことの重要性が強く認識されるようになりました。りそなグループでは、お客さま、地域社会の未来をプラスにするために、金融経済教育コンテンツの拡充や、本業を通じた情報提供、金融犯罪の被害防止に取り組んでいます。20年目を迎えた小学生向け「りそなグループ キッズマネーアカデミー」をはじめ、中・高校生向けの学校への出張授業や動画配信のほか、年金・相続・特殊詐欺防止などのテーマで全国各地で金融セミナーを開催するなど、世代別の金融経済教育を推進、2023年度は2,681回 46,846人にご参加いただきました。

### ▼小学生向け

【りそなグループ キッズマネーアカデミー】  
夏休み期間に全国各地の会場で、クイズやゲームなどを通じてお金の大切さを楽しく学びます。



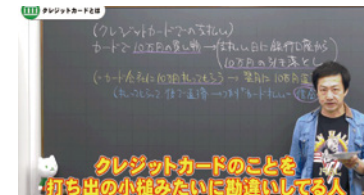
### ▼中・高校生向け

【ティーンズマネーアカデミー】  
りそなグループ従業員が学校の教室で、計画的な資産設計の重要性などを伝えます。



### ▼中・高校生向け

【動画で学ぶ！りそなの金融経済教育】  
代々木ゼミナールの人気講師が、わかりやすくかみ砕いて解説します。



### ▼高校生向け

【金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」】  
(東京・埼玉・滋賀・大阪大会)  
チーム対抗で激戦が繰り広げられます。



### ▼社会人向け

【全国営業店でのセミナー】  
年金・相続・特殊詐欺防止などさまざまなテーマでセミナーを開催しています。



## 店舗スペースを活用したシェアサイクルステーション

埼玉りそな銀行は、さいたま市が取り組むシェアサイクル事業に賛同する企業として、地域企業と連携し、既に設置している2店舗に加えて、新たに9店舗のシェアサイクルステーションを設置しました。また、みなと銀行においても、地域のお客さまの利便性向上を目的に、店舗スペースを活用してシェアサイクルステーションを設置し、既に設置済の埼玉りそな銀行と関西みらい銀行を合わせて合計20店舗で利用されています。脱炭素につながるシェアリングを促進することで、SDGsの達成を後押しします。

▶ 浦和レッドダイヤモンズとのコラボ広告  
©URAWA REDS



# 親会社株主に帰属する当期純利益は、 1,589億円となりました。

前期比14億円の減益ながら、通期目標に対しては105.9%の達成率となっています。  
コア収益<sup>※1</sup>は、人的・知的資本への先行投資等で経費が増加する一方、金利環境の変化を捉えた資金利益の増加、フィー収益の増勢維持により、通期目標対比105.8%の1,587億円となりました。

## ●損益の状況 (りそなホールディングス連結)

(単位:億円)

	2023年 3月期 (A)	2024年 3月期 (B)	前期比 (B)-(A)
業務粗利益	6,000	6,274	+274
資金利益 <sup>※a</sup>	4,193	4,216	+23
うち国内預貸金利益 <sup>※2</sup>	3,341	3,321	△20
うち円債利息等 <sup>※3</sup>	254	309	+54
フィー収益	2,086	2,135	+48
信託報酬	216	254	+38
役務取引等利益 <sup>※b</sup>	1,870	1,881	+10
その他業務粗利益	△279	△77	+201
経費(除く銀行臨時処理分)	△4,047	△4,165	△118
実質業務純益 <sup>※c</sup>	1,957	2,113	+156
株式等関係損益(先物込)	539	601	+62
与信費用 <sup>※d</sup>	△159	△356	△197
その他損益等	△87	△129	△41
税金等調整前当期純利益	2,250	2,230	△20
法人税等合計	△633	△646	△13
非支配株主に帰属する当期純利益	△13	6	+19
親会社株主に帰属する当期純利益	1,604	1,589	△14

通期ベースでは前期比20億円の減益となりましたが、下期は前期比+7億円と増益に転じています。

金利環境変化を踏まえた有価証券ポートフォリオの構築により、増加しました。

4期連続増益となり、過去最高益を更新しました。

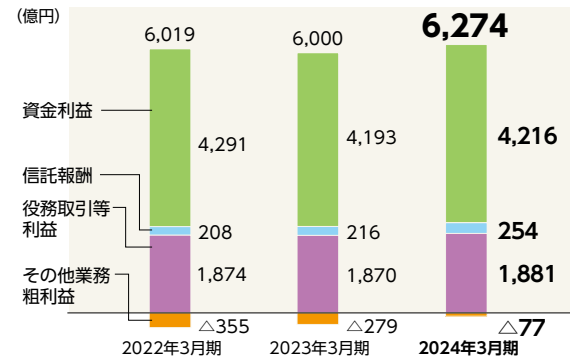
人件費・物件費ともに増加しましたが、計画内でコントロールしています。

政策保有株式の売却進展により増加しました。

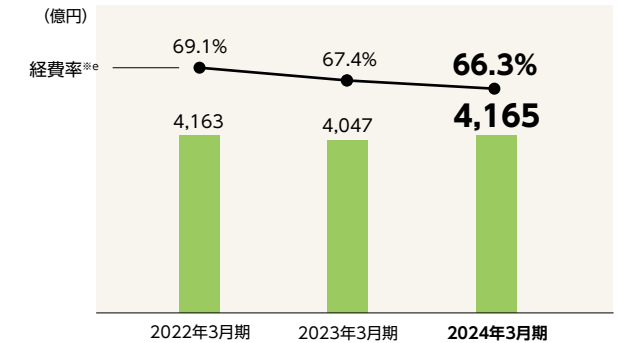
※1 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、特殊要因(合同金信影響+24億円、リース2社完全子会社化要因△11億円)除く実質ベース、「経費」は利益をマイナスする項目 ※2 銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む) ※3 円債利息・金利スワップ収益

**用語解説** ※a 資金利益 貸出や有価証券運用等による資金運用収益から、預金等の資金調達費用を差し引いた収支のことです。  
 ※b 役務取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介等、サービス提供の対価としてお客さまからいただく手数料収入のことです。  
 ※c 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引く等したものです。  
 ※d 与信費用 貸出金等に対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。  
 ※e 経費率 貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

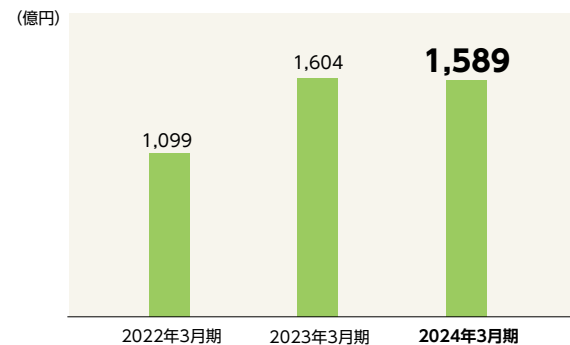
## ●業務粗利益



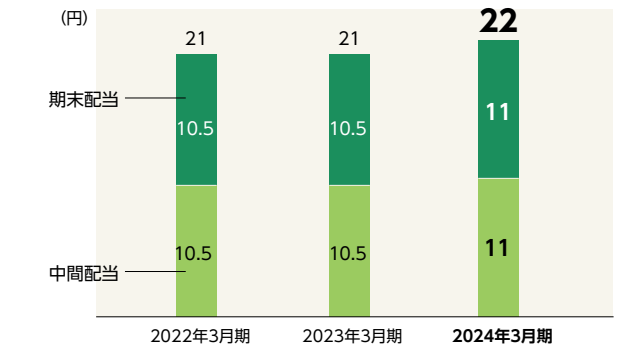
## ●経費(除く銀行臨時処理分)



## ●親会社株主に帰属する当期純利益



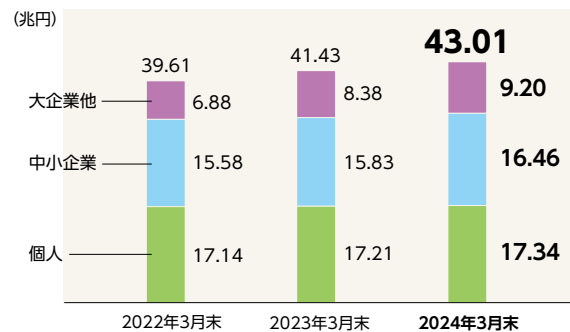
## ●普通株式1株当たり配当金



## Ⅰ貸出金・預金の状況

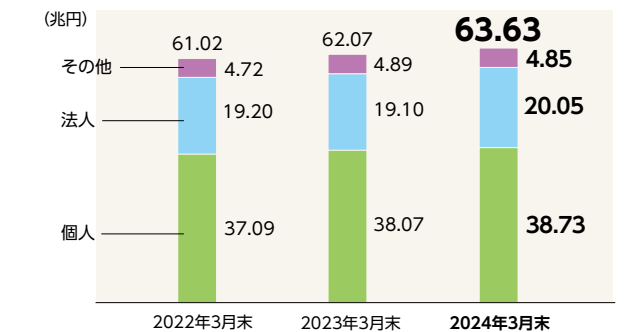
### ●貸出金残高(グループ銀行合算)

りそなグループ発足来初めて43兆円を突破しました。



### ●預金残高(グループ銀行合算)

法人・個人のお客さまの預金がともに増加し、前期末比2.5%の増加となりました。





# 2024年3月期 りそなグループの業績

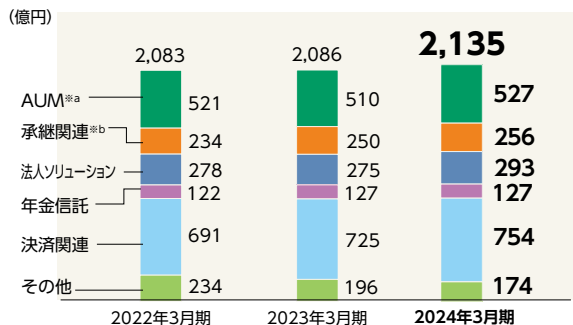
りそなグループの業績の詳細内容につきましては、  
ホームページをご覧ください。 [りそな 財務](https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/ir/)

<https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/ir/>

## I フィービジネスの状況

### ●フィー収益 (りそなホールディングス連結)

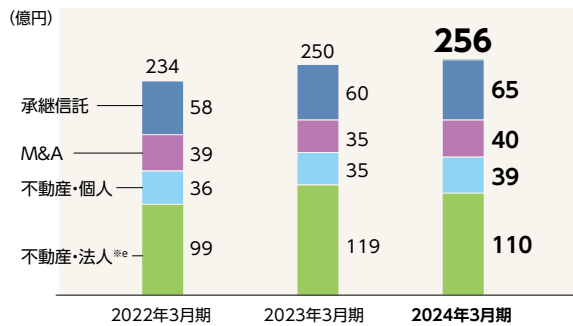
多様なソリューションの提供を通じて、4期連続の増益となりました。



<sup>a</sup> 保険、投信(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、証券信託、りそなアセットマネジメントの役務利益  
<sup>b</sup> 承継信託、不動産、M&A

### ●承継関連収益 (りそなホールディングス連結)

承継ニーズが高まるなか、増益基調を継続しています。

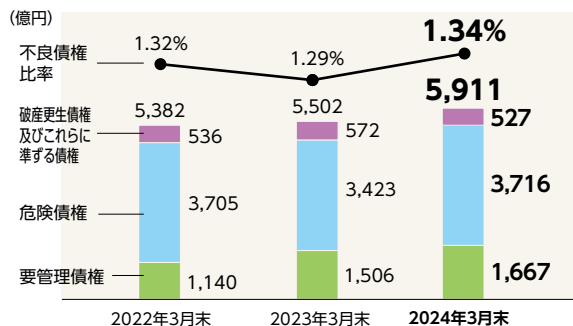


<sup>e</sup> 不動産ファンド出資関連収益除く

## II 財務健全性指標の推移

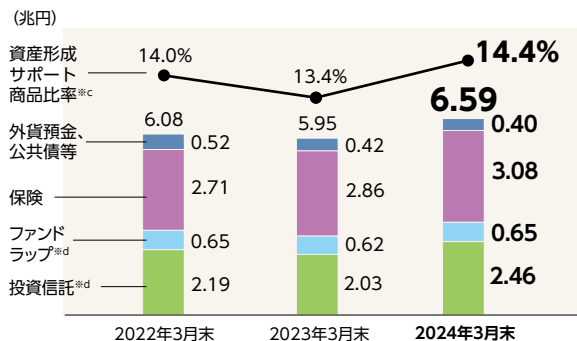
### ●不良債権残高・比率 (グループ銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.34%と引き続き、健全な水準を維持しています。



### ●個人向け資産形成サポート商品残高 (りそなホールディングス連結)

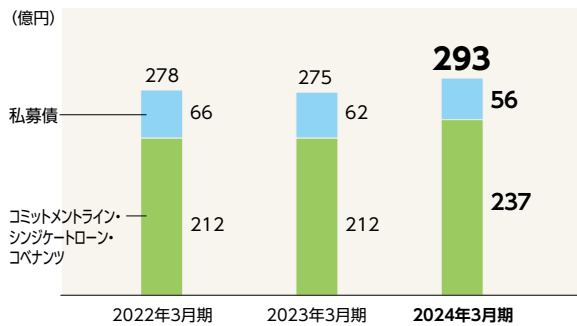
「貯蓄から投資」への流れが加速するなか、投資信託を中心に増加しました。



<sup>c</sup> 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))  
<sup>d</sup> 時価ベース残高

### ●法人ソリューション収益 (グループ銀行合算)

法人のお客さまに向けた貸出金が堅調に推移するなか、増益となりました。



# りそなグループ銀行の概況 / 株主メモ

## りそな銀行

●損益の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期
業務粗利益	3,098	3,268
経費	△2,063	△2,120
実質業務純益	1,035	1,147
与信費用	△95	△199
当期純利益	968	959

●貸出金・預金の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月末	2024年3月末
貸出金	226,649	238,607
預金	340,950	350,966

●自己資本比率の推移 (連結・国内基準) (単位:%)

	2023年3月末	2024年3月末
自己資本比率	11.88	12.40

## 埼玉りそな銀行

●損益の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期
業務粗利益	1,077	1,088
経費	△734	△760
実質業務純益	343	328
与信費用	△21	△37
当期純利益	259	277

●貸出金・預金の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月末	2024年3月末
貸出金	88,113	89,788
預金	168,904	173,762

●自己資本比率の推移 (連結・国内基準) (単位:%)

	2023年3月末	2024年3月末
自己資本比率	15.00	16.55

## 関西みらい銀行

●損益の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期
業務粗利益	875	896
経費	△656	△643
実質業務純益	218	253
与信費用	△4	△43
当期純利益	151	153

●貸出金・預金の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月末	2024年3月末
貸出金	69,074	70,204
預金	72,759	72,978

●自己資本比率の推移 (連結・国内基準) (単位:%)

	2023年3月末	2024年3月末
自己資本比率	9.40	12.71

## みなと銀行

●損益の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期
業務粗利益	390	418
経費	△314	△323
実質業務純益	76	94
与信費用	△29	△16
当期純利益	36	46

●貸出金・預金の推移 (単体) (単位:億円)

	2023年3月末	2024年3月末
貸出金	30,531	31,514
預金	38,167	38,636

●自己資本比率の推移 (連結・国内基準) (単位:%)

	2023年3月末	2024年3月末
自己資本比率	8.74	10.32

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
配当金の基準日	毎年3月31日(中間配当実施の場合は9月30日)
公告方法	電子公告(当社Webサイト) <a href="https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/">https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/</a> ※やむを得ない事由により電子公告できない場合は日本経済新聞に掲載
単元株式数	100株

お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先
郵便物の発送と返戻	株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
・支払期間経過後の配当金	郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	電話番号 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・休日を除く)
	Webサイト <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
上記以外のお手続き、ご照会など(住所変更・相続等)	証券会社に口座をお持ちの場合 証券会社 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください
	特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
	郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	電話番号 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・休日を除く)



## 株主さまアンケート実施のご案内

りそなホールディングスの株主さまを対象に、Webアンケートを実施いたします。りそなグループの取り組みなどについて、皆さまのご意見ご要望をお寄せください。

ご回答いただいた株主さまの中から、抽選で500名さまに大阪・関西万博入場チケット（ペア2名さま分）をプレゼントいたします。



OSAKA, KANSAI, JAPAN  
EXPO2025

©Expo 2025

**受付期間**： 2024年6月10日(月)～6月30日(日)

**受付方法**： 以下Webサイトに掲載のアンケートフォームにご入力の上ご送信ください。  
<https://www.resona-gr.co.jp/kabu/>



## 株主さまの個人情報のお取り扱いについて

株式会社りそなホールディングス（以下、「当社」といいます）は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報（氏名・住所・保有株式数等）を利用させていただいております。当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

### 1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社（下記2. (1)に記載の会社、以下同様）から各種便宜を供与するため

- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

### 2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第27条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

#### (1) 共同利用者の範囲

- 株式会社りそなホールディングス（当社）
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社みなと銀行

#### (2) 共同利用する個人データの項目

- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

#### (3) 共同利用者の利用目的

- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため

#### (4) 個人データの管理責任者の名称・住所・代表者氏名

- 名称 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 住所 東京都江東区木場一丁目5番65号
- 代表者氏名 南 昌宏

### 3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

**電話番号** 東京 03-6704-3111（代表）  
大阪 06-6268-7400（代表）  
**受付時間** 9:00～17:00（銀行休業日を除く）

株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社にご連絡をいただいた株主さまの個人情報を共同利用者に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

名称 株式会社 **りそなホールディングス** 証券コード 8308  
(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地  
東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)  
大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)



りそなグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。